

令和4年度 創造調和

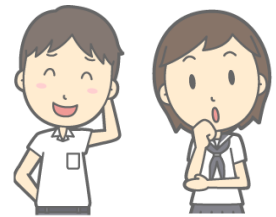
令和4年12月13日
半田市立半田中学校
第9号
学校だより

一秒の言葉

毎年、12月4日から10日を人権週間とし、人権について考える機会をもっています。人権とは、一人ひとりが生まれたときから持っている「自分らしく生きる権利」のことです。つまりは、みんな生まれたときから「自分らしく生きていい」とされているのです。みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達のよいところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知る期間にしたいです。

11月25日に、学校運営協議会と後期生徒会役員との意見交換がありました。そこで、「みんなが考える幸せとは何か？」について、生徒からこんな意見が出ました。

- ・友達と過ごす時間が幸せ。
- ・みんなが校則を守って、学校生活が楽しいとすることが幸せ。
- ・部活動、行事など青春を全力で楽しむことが幸せ。
- ・質のいい授業を受けることが幸せ。
- ・授業中に自分の意見が認められることが幸せ。
- ・学校に居場所があることが幸せ。
- ・行事などでおもいっきり楽しんだり、友達のよさを知れたりするのが幸せ。



それぞれに、幸せの感じ方は異なりますが、今、皆さんは幸せですか？辛いと思っている人は、幸せに近づく魔法があります。「辛」に「一」をつけたすと「幸」になります。たった1秒でも幸せを感じることができる瞬間があるのです。

では、1秒について考えてみましょう。1日は24時間、分にすると1,440分、秒にすると86,400秒です。1秒でどんなことができるのか、考えてみてください。

例えば、一文字書く、「あ」って言う、手を挙げる、1秒ではほとんど何もできません。でも、心臓は1秒に1回打っています。地球は1秒間に太陽の周りを28.9km進んでいて、半田中学校から名古屋の大須観音までの距離になります。歩くと6時間30分かかります。鳥の中で、一番小さなハチドリは、1秒間に55回羽ばたいています。ミツバチは200回、蚊は600回も羽ばたいています。皆さんにとって、1秒は何もできないと思うかもしれませんが、1秒の世界を知ると、ものすごく大きな1秒のように感じませんか。

実は、「1秒間に0.3」という世界があります。これは、食べ物がなくて、飢えによって命を落とした人の数です。目をつぶって4秒数えてください。今の4秒間のうち、一人の命が飢えで亡くなっています。1秒の世界は目に見えないですが、目に見えないことほど、大事なことである場合が多いと思います。

昔、セイコーという会社が、「一秒の言葉」というCMを出して話題になりました。

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることもある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で、しあわせにあふれることもある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることもある。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになる時がある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。



皆さん、どう思いましたか。たった一秒の言葉でも、幸せを感じる瞬間があるのです。

12月12日は、今年の世相を表す漢字一字が発表されます。感染症の猛威、ロシアのウクライナ侵攻、円安、安倍元首相銃撃事件など、次々に不安なことが起こりました。来年は、みんなが安心して生活できる社会になってほしいという願いを込めて、「安」という漢字が選ばれるといいなと思っています。

一方、2022FIFA ワールドカップでは、日本選手の最後まであきらめず、勝利を信じて相手に立ち向かっていく結束力に、勇気と元気をもらいました。悲願のベスト8の壁は崩せませんでした。選手たちは新しい景色を見せてくれました。人は、気持ちしだいで、よりよく変われると思います。

半中生！ 志高く！！

